

中央での思い出

阿部 純怜

私が中央に入ったのは、姉が中央に入ってたからです。それまでは、今のみいちゃんやたくみたく、まわりでなつきとかと遊んでいました。

二年生くらいのころ、あやのたちが中央に入ってやっているのを見て、自分もやりたくなくて入部しました。入部してからも今も生意気で、Bチームの試合とかでも怒ったり、時にはれいという子とけんかして泣かせちゃったこともありました。

それから三年生になりだんだんと仲間も増え、今のゆうり、えみ、今はもう辞めてしまったひなの、れい、ゆうな（岡部）などとチームを組みやってきました。

監督にこの代は、全国に行けると期待されながら四年生はやって、姉のももかたちの全国大会にも出場することができ、関東大会にも出場することができました。そして12月スポ少の全国のキップを手にはできましたが、3月11日のあの地震で大会は中止になってしまい、その後も体育館が使えず、青葉の森でやることが二週間くらいあり、そんな中でBチームでずっとセッターをやってくれたゆうな（岡部）が辞めると言い出し、私はこんなだったらチームのセッターは誰がやるのか不安になりました。

そして5年生。負けず嫌いな私は、菜月がアタッカーをできているのに、なんで私はバックなんだとすごく思っていました。5年生の時は全部のポジションをやることになり、いろいろポジションが変わって、よくわからなくなってしまった時もありました。

そして12月にLC杯。去年は優勝することができなかったのも、今度こそしてやろうと思って、やったら優勝することができ、すごくうれしがつて、その中で私は優秀選手賞などあるとは知らず、閉会式に出て、司会者が次は優秀選手賞ですと言った時、どうせキャプテンなんだろうなあと思っていたら、自分の名前が呼ばれて、すごくびっくりとうれしさがありません。

1月になり前からうわさになっていた、千種の子が来ると言って川戸に体験に来ました。それがゆうなでした。そしてゆうながセッターになり、私はやっとセッターがきてくれたとホッとしました。そのころ私の仲が良かったひなのが辞めてしまいました。

そして新人戦。大津が強いとうわさが流れてきて、優勝できるか不安だったけど、そこまで強なくて優勝することが出来ました。

そして夏の全国大会のキップを手にはことができ、姉の時できなかった全国制覇してやると思い、神奈川の体育館へ行きましたが、惜しくもベスト8でした。私は全国はそんなに甘くないなと感じました。

そして関東大会のキップを手にはすることができました。神奈川にいきました。でもその組み合わせがベスト8で宮原と当たることになっていて、一回しか勝ったことがない

のに勝てるかと不安になりました。その当日宮原にも勝つことができ、その波で優勝することもできました。

そしてスポ少全国のキップを手にすることができ、会場の高知県まで飛行機で行って試合をしました。さすがに冬になると、他の県もレベルが上がってくるなあと思いました。初日は3セットも負けてしまい、2日目は1試合負けてしまいましたが、セット数で勝つことができ、コート決勝をやりました。相手は福井県。身長が170cmくらいある子がいて、勝てるか不安でした。だけどブロックも止めることができ、勝てました。そしてベスト8になり、青森県とやることになり、緊張もしていたけど少し油断もありました。試合が始まり1セット目負け、2セット目は勝てるゲームだったのに負けてしまいました。

このようにベスト8で終わってしまったけど、今年はこのような結果を残せたのは、監督・コーチ・親のおかげです。本当に感謝しています。ありがとうございました。